



～一人ひとりが思いやり 心ふれあうめぐもりのまち～
しゃ きょう

社協だより

Vol.335

令和2年
(2020年)

7 月号

～認知症になっても安心して暮せるために～

高砂市の認知症への取り組み

●認知症初期集中支援チームによる支援



●認知症相談センター



●認知症地域支援推進員の配置



身近な地域の認知症の相談窓口です

認知症についての相談は認知症相談センター（地域包括支援センター）までご連絡ください！

問合せ先 ☎443-3723

●認知症サポーターの養成



●認証認知症カフェの支援



●あたまの健康チェック



●高砂市高齢者等見守りSOSネットワーク事業模擬訓練



主な内容

P2・3…令和元年度事業報告と決算

P7…シルバーカードのご案内

決算

去る6月12日(金)の評議員会において、令和元年度の事業報告と決算報告が承認されました。
事業の主な内容を下記のとおり「社協活動の1年間のあゆみ」で振り返ります。

自立支援に向けたサービス提供と安心して暮らせる環境づくりの推進

- 「訪問介護事業」においては延べ1,994人、「居宅介護支援事業」においては延べ2,420人に対しサービス提供やケアプランを作成
- 「障害福祉サービス事業」では延べ532人、「地域生活支援事業」では延べ208人の利用者に対し支援を実施
- 「生きがい対応型デイサービスセンター事業」では、定例行事や季節行事、地域出前型茶話会を実施し、延べ5,488人が参加
- 「地域包括支援センター」では総合相談支援事業、権利擁護事業、認知症施策、いきいき百歳体操事業等を推進
- 「生活支援体制整備事業」では、第2層協議体が新たに1地区結成され、計5地区の運営を支援
- 「ファミリーサポートセンター」において、1,994件の援助活動を行い、善意銀行寄附金を活用して利用助成を実施



～決算報告～

令和元年度末
支払資金残高
177,950,139円



法人総合資金収支決算(サービス区分別)

事業区分	拠点区分	サービス区分名	収入	支出	当期資金収支差額
社会福祉事業	法人運営本部	法人運営事業	38,319,653	44,255,457	△ 5,935,804
		共同募金配分金事業	13,679,945	13,679,945	0
		善意銀行運営事業	2,346,943	5,695,055	△ 3,348,112
		ボランティア活動センター事業	9,935,438	11,820,450	△ 1,885,012
		生きがい型デイサービス事業	7,468,829	7,338,043	130,786
		ふれあいのまちづくり事業	42,329,912	51,779,465	△ 9,449,553
		資金貸付事業	2,306,333	2,306,333	0
		福祉サービス利用援助事業	3,242,400	5,443,061	△ 2,200,661
	介護保険事業等	訪問介護事業	69,412,033	75,469,897	△ 6,057,864
		居宅介護支援事業	36,167,450	52,493,828	△ 16,326,378
		障害者(児)居宅介護事業	21,679,691	24,844,915	△ 3,165,224
		障害者(児)同行援護事業	12,912,735	6,758,424	6,154,311
		障害者(児)相談支援事業	4,861,085	4,989,896	△ 128,811
		障害者(児)地域生活支援事業	7,053,753	8,392,954	△ 1,339,201
		老人居宅等介護事業	1,407,312	616,967	790,345
公益事業	法人運営本部	地域包括支援センター事業	152,139,946	155,742,500	△ 3,602,554
		ファミリーサポートセンター事業	8,503,768	7,757,275	746,493
(内部取引消去)			△ 4,906,340	△ 4,906,340	-
法人総合(①)			428,860,886	474,478,125	△ 45,617,239
前期末支払資金残高(②)					223,567,378
当期末支払資金残高(①+②)					177,950,139

社協活動の1年間のあゆみ

～事業報告～

計画の推進と組織・経営基盤等の強化

市民への情報提供及び啓発



- 5カ年計画である第6期地域福祉推進計画ならびに社会福祉充実計画を推進
- 市内に施設を置く全社会福祉法人20法人が加入する社会福祉法人連絡協議会を設立
- 社会福祉充実残額を活用し、非正規職員に対する処遇改善を実施
- 「社協だより」を年12回発行、「ホームページ」を46回更新
- 「第29回みんなの社協フェア」を11/10(日)に開催

ボランティア事業の展開と福祉教育の推進



- ボランティアに関する相談(延べ32件)及び依頼に関する相談(延べ155件)に対応
- 福祉教育推進事業(小学校10校、中学校7校、高校4校)を実施
- 地域貢献活動の大切さを学ぶことを目的に高校生ボランティア“TKV”研修会を全9回開催し、延べ102人が参加
- 災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施し、延べ38人が参加

地域ネットワークづくりの推進 (ふれあいのまちづくり事業の展開)



- 920人の第11期福祉委員を委嘱し、福祉のまちづくり活動を推進
- 「ふれあいいいききサロン事業」を実施する延べ69部会に対し、活動費を助成
- 市内で子ども食堂を運営する3団体(4事業)に対し、運営費を助成
- エンディングプラン・サポート事業利用対象者2人に対し、10万円を助成
- 要支援等の高齢者延べ545人に対し、運転ボランティア登録者8人を中心に地域支え合い・移送サービス試行事業を実施

生きがい対応型デイサービスセンターだより



市内在住のおおむね60歳以上で、介護保険サービスを利用していない人を対象に、介護予防を目的とした仲間づくりや交流、健康増進等の行事を下記のとおり行っています。
※参加の際には、利用登録と『地域ささえあい講座』の受講が必要です。

わくわくフェスタ

健康セミナー ストレッチ体操

- 日 時：7月17日(金)
10:00～11:30
- 場 所：交流スペース8・9
- 定 員：15名
- 参加費：110円
- 申込締切：7月8日(水)
16:00まで
- 持ち物：上履き・飲み物
バスタオル2枚



※申込多数の場合、抽選とさせていただきます。
持病による運動制限、体に痛みの無い方を対象とした体操になります。
詳しくはお問い合わせください。

7月定例行事

- 午前(10:00～)
- 1日(水) 絵手紙
- 7日(火) いきいき体操
- 8日(水) 折り紙⑥
- 16日(木) 折り紙⑦
- 20日(月) うたの会(10:00～)
うたの会(12:00～)
- 28日(火) ゆうゆう体操
- 31日(金) 朗読の会

※実施内容に一部変更があります。参加の際は必ずお問い合わせください。

わきあいあいサロン

介護予防に役立つ体操やゲームを各公民館で行っています。
7月～9月は、わきあいあいサロンの開催はありません。
10月以降の開催をお楽しみに！



参加者の声...

- いつも楽しく参加しております。次回も楽しみです。
- 日常ではできないことを皆さんと一緒にできることが素晴らしい。

囲碁

- 13:00～
- 1日(水)・13日(月)

将棋

- 13:00～
- 3日(金)・16日(木)

申込み・問合せ先 **生きがい対応型デイサービスセンター**
山陽電鉄『高砂駅』より西へ徒歩10分/『荒井駅』より東へ徒歩15分

☎444-3030

高砂市ファミリーサポートセンターです!

ファミリーサポートセンターでは、「子育ての援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」が「依頼・提供・両方会員」となり、お互いに助け合いながら地域の中で子育ての相互援助活動を行っています。
みなさまもファミリーサポートセンターの会員になりませんか?

たなばた交流会

みんなでたなばた遊びを
楽しみましょう♪

〈日 時〉7月29日(水) 10:00～11:30

〈場 所〉阿弥陀公民館2階 講堂

〈対 象〉ファミリーサポートセンター登録会員、
子育て中の人

〈定 員〉20組

〈締 切〉7月27日(月)



たなばた
交流会の
様子です
(R1.7.29)



〈地区別会員数〉

地区名	高砂	荒井	伊保	中筋	曾根	米田	阿弥陀	北浜	市外	計
依頼	74	155	79	27	55	151	79	30	18	668
提供	25	11	15	7	9	16	15	2		100
両方	2	12	6	3	6	4	2	4		39
計	101	178	100	37	70	171	96	36	18	807

(令和2年4月末現在)

依頼会員に登録を希望される方は
センターに電話でご相談ください。



新型コロナウイルス感染症の影響で行事等を中止する場合があります。

申込み
問合せ **高砂市ファミリーサポートセンター**
TEL 442-0555 FAX 443-0505

小地域福祉活動 写真展

～各地域では、「ふれあいいきいきサロン」や見守りが必要な方への「ゆうあい訪問活動」等が福祉委員や民生委員・児童委員の創意工夫により、活発に行われています。今回は、令和元年11月に開催された活動の一部をご紹介します～



◆高砂町
第6福祉部会(11月21日)
神戸フルーツフラワーパークで食事
やカラオケを楽しみリフレッシュ



◆中筋校区
時光寺町福祉部会(11月15日)
食事を頂いた後、紙粘土で干支(ねずみ)の置物を製作



◆中筋校区
春日野町福祉部会(11月11日)
食事を開催、お喋りやカラオケを楽しみ、親睦を深める



◆米田町
島福祉部会(11月8日)
詩吟で声を出し、ビンゴゲームで盛り上がり、楽しいひとときを過ごす



◆阿弥陀町
魚橋福祉部会(11月19日)
龍野市へバス旅行に行き、醤油資料館や市内を散策、楽しい一日を過ごす



◆北浜町
牛谷東福祉部会(11月3日)
モーニングを頂きながら、参加者どうし近況を話し、お喋りを楽しむ

新型コロナウイルスの影響で昨年度開催分を掲載させていただいております。紙面の都合上、一部の活動のみ掲載しています。

県民ボランティア活動助成のご案内

- 目的** 県民自らが行うボランティア活動の支援を通じて、活動の安定的かつ継続的な発展を図ることを目的とした助成金です。
- 対象** 継続的にボランティア活動を行う法人格を持たないボランティアグループ・団体であること。(社会福祉協議会にボランティアグループ・団体として届け出をしていること)
- 募集期間** 令和2年
7月1日(水)～8月31日(月)
- 助成額** 上限3万円(全グループ・団体一律同額)
(注)エントリー受理数により助成額が決定されますので、3万円より減額となる可能性があります。



★県民ボランティア活動助成の申請条件の特例(日数緩和措置)について

特例を受けるためには条件があります。条件をみたした場合は、年間活動日数が原則10日(活動再開準備の必要が認められる場合は9日)であっても、活動日数に係る申請条件を満たしたものとみなします。

詳細については ボランティア活動センター ☎442-4047

～広がる!!!いきいき百歳体操の輪♪～

平成26年度に立ち上がったグループ



ひまわり



中島ひまわり

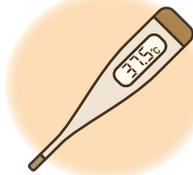


ミラクル

安全に運動・スポーツをするポイント

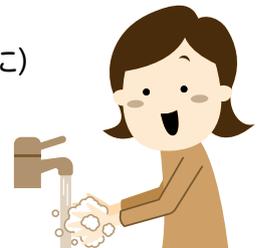
体調をチェック

- 体温は平熱である。
(37.5℃を超える場合は外出NG)
- 発熱や咳、のどの痛みなど
風邪の症状がない。
- だるさ、息苦しさがない。
- においや味がいつもと同じ。



感染予防の基本

- 手洗い
(運動・スポーツの前後に)
- 咳エチケット



※運動不足(身体的不活動)は健康に害を及ぼします。安全な環境を確保して適度に運動・スポーツを行うよう心がけてください。

高齢者や基礎疾患などのある方は、かかりつけ医に相談してください。

〈問合せ先〉 高砂市地域包括支援センター ☎443-3723



善意銀行預託状況



～あたたかい善意をありがとうございました。高砂市の福祉活動に役立てます～

R2.5.1～5.30 ※敬称略

—金銭の部—

地区名	氏名	金額(円)	備考
高砂	玉野 俊行	2,000	
	短足おじさん	4,711	お客様の善意
米田	天満 了	10,000	
明石市	秋定 哲哉	18,000	
姫路市	熊谷 幸江	18,000	

※善意銀行への寄附金は税額控除が適用されます。

—物品の部(外国コイン・古切手・使用済カード等)—

特別養護老人ホーム めぐみ苑、高砂市手をつなぐ育成会、
 (株)優和、高砂市役所

 匿名

高砂市善意銀行では、政府発行のマスクのご寄附も受け付けております。
 ご寄附いただいたマスクは、必要とされている方々のために活用させていただきます。



—物品の部—

匿名…弱視用拡大モニター1台
 匿名…肌着12枚

弱視用拡大モニターをご寄附いただき、視覚障害者福祉協会の会員様に払出しました。



匿名…手作り布マスク98枚
 米田町老人クラブ女性部…手作り布マスク80枚
 巾 みゆき…不織布マスク180枚
 匿名…防塵マスク20枚
 匿名…不織布マスク10枚
 匿名…政府発行布マスク6枚(計3件)



高砂市老人クラブ連合会

高齢者の元気は地域の元気!

高砂市老人クラブ連合会会員なら誰でももらえる

シルバーカード さあ、カードを持って出かけよう!!

「シルバーカード」事業開始から8年目になりました。新たなお店・事業所の加盟をいただいております、地域商業の活性化にも役立ちたいと願っております。

外出する機会を増やし、健康づくりに! 仲間づくりに!

ぜひ、老人クラブに加入して「シルバーカード」をお持ちになってはいかがでしょうか。
 このカードを加盟店で提示して、いろいろな特典を受けることができ楽しみが増えます。
 (特典内容(サービス)は店舗によって異なります)



利用者の声

- 「加盟店での特典を楽しみにして買い物しています」
- 「初めてのお店でも、加盟店だから安心できる」
- 楽しくて シルバーカード使いすぎ
- 外出に シルバーカード友となり
- ※多くの会員の方は、カバンの中に「加盟店名簿」を携帯しておられます。



▲このステッカーが加盟店の目印です

入会を希望される方は、
 地域にある単位クラブに直接お申し込みください。
 又は、高砂市老人クラブ事務局までお問合せください。

☎079-444-3020

～「もの忘れ」気になりませんか?～

相談のみも
可能!

あたまの健康チェック

もの忘れが気になる方、ご家族の認知症の相談もお受けします。お気軽にお越しください。

日時：7月28日(火)・8月25日(火)

①10時 ②11時 ③13時 ④14時 ⑤15時

場所：高砂市ユーアイ福祉交流センター1階 相談室1

人数：各時間1名 費用：無料

対象：高砂市内在住の65歳以上の方

実施方法：対話形式で、簡単な質問に答えていただきます。(30分～1時間程度)

申込方法：電話又は来所にて予約が必要です。

申込み・問合せ先

高砂市地域包括支援センター ☎443-3723

登録型ホームヘルパー募集!!

資格：ホームヘルパー2級または初任者研修、介護福祉士

勤務体系：直行直帰 登録型(希望の曜日・時間)

賃金：生活援助 1,308円~/時給

身体介護 1,700円~/時給

処遇改善手当込み

※早朝、夜間、日祝/割増

※別途、移動手当、有給休暇有り

※資格・経験年数により昇給

条件：週3日程度働ける方

(時間は相談に応じます)



まずは、電話でお問い合わせください。

申込み・問合せ先

ふれあい訪問介護事業所 ☎443-3408



耳より ホットライン

認知症の人を ささえる家族の会 「いるかの会」

～気軽にご参加ください～

日時：7月20日(月) 13:30～15:30

場所：ユーアイ福祉交流センター1階 研修室

内容：わいわいがやがや「お話し会」

若年性認知症と ともに歩む 「子いるかの会」

～家族の日～

日時：7月6日(月) 10:00～12:00

場所：ユーアイ福祉交流センター 2階 登録団体連絡室

内容：介護する家族が日頃の思いを語り合い、情報交換する場です。

～みんなで楽しむサロンです～

日時：7月19日(日) 13:30～15:30

場所：ユーアイ福祉交流センター 2階 交流スペース8.9

内容：認知症の人の医療や福祉サービス利用についての意見交換

参加費：300円

申込み・問合せ先

高砂市社会福祉協議会 ☎444-3020

高砂市支え合う 介護者の会 「すずらんの会」

～家族の介護をされている方、
一緒に悩みを分かち合い、
共感し合える仲間と交流しませんか～

日時：7月9日(木) 13:30～15:00

場所：高砂市文化保健センター 1階 栄養指導実習室

内容：※わいわいがやがや話し合い

申込み・問合せ先

高砂市保健センター ☎443-3936



主唱 / 法務省

第70回

第70回
社会を明るくする運動

広がり、
つながる
未来の輪。

Hand in hand

犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ

東京ペンギンの
サラちゃん

社明 しゃめい

Q 検索

東京ペンギンの
ホゴちゃん

7月は“社会を明るくする運動”強調月間・再犯防止啓発月間です。

主唱 法務省

社会を明るくする運動

『犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ』

「社会を明るくする運動」

高砂地区推進委員会の組織

高砂市

高砂市保護司会

高砂市教育委員会

高砂市社会福祉協議会

高砂市民生委員・児童委員協議会

高砂防犯協会

高砂交通安全協会

高砂市連合自治会

高砂市連合婦人会

高砂市老人クラブ連合会

高砂市青少年補導委員協議会

高砂市青少年健全育成連絡協議会

高砂商工会議所

高砂ロータリークラブ

高砂青松ロータリークラブ

高砂ライオンズクラブ

(社)高砂青年会議所



人はみな、
生かされて
生きてゆく。

する運動月間です



明るい社会の実現をめざして



「社会を明るくする運動」
高砂地区推進委員会委員長

高砂市長 都倉 達殊

いよいよ夏の到来を迎え、暑さ厳しい季節となつてまいりました。市民の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より市政各般に格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、毎年7月は『社会を明るくする運動』犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ』の強化月間です。この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする法務省主催の全国的な運動で、今年で70回目を迎えます。本運動では、「幸福（しあわせ）の黄色い羽根」をシンボルマークとし、地域の方々の理解と協力の輪を広げていきます。

連日、犯罪ニュースが各メディアで報じられています。罪を犯した人は、深い反省と償いを経て、立ち直る決意をし、再び地域に戻って新たな第一歩を踏み出そうとします。しかしながら、現実には仕事や身寄りがないため孤立し、社会から取り残され、自分の居場所がないと思ひ詰め、犯罪を繰り返してしまふ人も少なくありません。犯罪や非行を繰り返させない社会を構築するため、私たちにできることは、立ち直ろうと努力する人が、地域に受け入れら

れ、社会の一員となれるよう、行政をはじめ様々な機関・団体、そして地域の方々が温かく支えることです。この運動の主体には、地域社会へ復帰しようとする努力している人の手助けをする保護司、更生保護法人、更生保護女性会、BBS会などのボランティアの方々や、改善更生に協力いただいている事業主の方が大勢おられます。市民の皆様には、どうかこの運動の趣旨にご賛同いただき、「おかえり」の心をもつて、犯罪や非行のない明るい社会を築くための行動につなげていただきたいと思います。

本市におきましても、毎年「高砂市明るい安全安心まちづくり市民大会」を開催し、犯罪や非行、交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりの啓発活動に取り組んでいるところです。

今後も引き続き、幅広く地域住民や関係者の協力と連携を得ながら、安全安心な生活と犯罪や非行からの立ち直りを支えていくことができる地域づくりを努めてまいります。

最後になりましたが、高砂市保護司会をはじめ関係各位の皆様には、日頃より更生保護事業の推進に多大なご尽力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

高砂保護区事件数 (令和2年6月1日現在)

神戸保護観察所

保護観察事件	21件
(内訳) 少年	12件
成人	9件

生活環境調整事件	19件
(内訳) 少年	0件
成人	19件

保護観察は、犯罪をした人又は非行のある少年が、実社会の中でその健全な一員として更生するように、国の責任において指導監督及び補導監督及び補導援護を行うもので、保護観察処分少年、少年院仮退院者、仮釈放者、保護観察付執行猶予者及び婦人補導員仮院者などがその対象となります。

生活環境調整は、刑事施設や少年院などの矯正施設にいる人の仮釈放・仮退院後の住居や就業先の帰住環境を調査し、改善更生と社会復帰にふさわしい生活環境を整えることによって、再犯・再非行を防止するとともに円滑な社会復帰を目指すものです。

7月は社会を明るく

小学生の部

兵庫県審査会佳作

社会を明るくする運動

高砂市立米田西小学校 六年 松尾莉愛

私が、犯罪、非行のない社会づくりにについて考えた事は、どの国、地域であっても犯罪や非行はおきるから、おそらく犯罪、非行をなくす事はとても大変な事だと思います。その

犯罪、非行のない良い社会にしていく事が必要だと思っています。

訳は、犯罪、非行はどんな人がするという特定はできないからです。だから、犯罪や非行をおきる前になくすというのは、かん単に出

来ることではないと思います。私が考える犯罪、非行というのは自分で自分をコントロール

できなくなった時におかしてしまう物です。だからこそ犯罪、非行をなくすためには、周囲

の人の協力、気づかひが必要だと思っています。もちろん、だれがおかすか分からない犯罪、

非行を犯罪、非行をおかしそうな人だけに

するのはなく、ふ段からだれかに社会全体で

笑顔であたたい言葉や、手をさしのべてあげ

るべきだと思います。また、あたたかい言葉

や手だけではなく、犯罪、非行はしてはいけ

ないとよびかける取り組みをすることで、よ

り社会から犯罪や非行は減るのではないでしょ

うか。

つまり、犯罪、非行のない社会づくりをする

ためには、社会全体の協力や人々のあたた

かい言葉をかけてあげたり、犯罪、非行をな

くすための取り組みをふ段からし、じよじよに

次に、犯罪、非行をおかした人の立ち直り

について考えた事は、立ち直るとい事はかん

単な事ではないという事です。もちろん犯罪、

非行をおかすのはいけない事でもあり、して

許されない事、あやまつて許されない事もあり

ます。そして、犯罪、非行をおかした人は何

度あやまつても許されないと、きつと自分のし

た事にとても責任を感じると思います。ここ

までは、犯罪、非行をおかした人が感じない

といけない事だと思っています。でも、いつまでも

「あやまりなさい」「許さない」という言葉ば

かりかけられているとその犯罪、非行をおか

した人は責任ではない一つの重い荷物を一人で

背負う事になります。もちろん、あやまつて

許されるものでも、あやまつて許されないもの

であつても、犯罪、非行をおかした人は必ず

被害者に謝罪し、罪をつぐなう事が必要だと

思うし、責任を感じるべきであり、それから

立ち直るべきだと思います。その過程で私が

大事だと思うのは責任より重い荷物を一人に

背負わせない事だと思います。人は、一人で

何かをする事はできても、一人で自分のした

事に責任をとるのにはできないと思います。だか

ら、私たちがだだの観らん者としてではなく、一人のお助けマンとして、その人にあたたかい心と手をさしのべてあげるべきだと思います。

つまり、犯罪、非行をおかした人は被害者

に謝罪をし、自分のした事に責任を感じるべ

きだけど、その人一人で責任より重い荷物を

背負わさせるのではなく、私たちが自分の心

とあたたかい手をさしのべ、重い荷物を一緒に

分けて背負い、その人には立ち直ってもらうべ

きだと思っています。そして立ち直った人は、これ

が当たり前だと思わず、申し訳ないと思う気

持ちと、支えてくれた人への感謝の気持ちを

忘れず、過ごして欲しいと思います。

最後に、犯罪、非行は、人がおかすもので

あるが、それを正せるのも人だという事を私

は、社会を明るくする運動の文章を書きなが

ら深く考えることが出来て、良かったです。

第70回
社会を明るくする運動

主唱・法務省

「ごめんなさい」
言える勇氣と
許せる心



犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域の手カラ

主催
協賛

高砂市更生保護 サポートセンター

昨年3月20日、荒井町の住民交流施設「よつこ村・荒井」内に「高砂市更生保護サポートセンター」が開設されました。

更生保護サポートセンターは、保護司や保護司会が、地域の関係機関・団体と連携しながら地域で更生保護活動を行なうための拠点となる施設です。

このサポートセンターは、平成20年度から全国で設置が始まりました。その背景としては、近年の処遇困難な保護観察対象者の増加や地域における連帯感の低下などから、保護司個人が行なってきた処遇活動や保護司会が主体となってきた犯罪予防活動を以前と同じように行なうことが難しくなってきたことがあります。

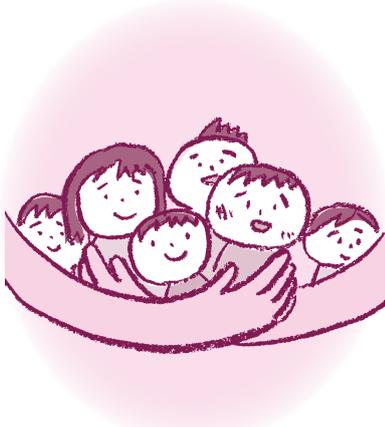


また、処遇困難な保護観察対象者の増加などにより、自宅以外での面接場所の確保の必要性が出てきたことも設置の理由となっています。

このような背景で始まったサポートセンターは、その設置の必要性が認められ、現在全国で800ヶ所

に設置されることとなりました。高砂市においても、関係者のご協力を得、ようやく開設する運びとなりました。

現在は、高砂市保護司会の事務所として、また会議室として使用しておりますが、今後は、保護観察対象者の面接、相談業務、また、関係団体との連絡調整、保護司の研修、研鑽など、保護司及び保護司会の活動や運営をサポートする拠点として、幅広い活用が期待されています。



高砂市保護司会

新寶 能子、中尾 進
 新田八洲彦、橘 純子、
 廣瀬 明正、三好 由紀、
 梶原 好博、藤井 正憲、
 宮本 幸弘、籠谷 稔、
 日岡 孝夫、志方 美之、
 正井 久義、塩谷 重晴、
 曾根 眞正、浜野 和樹、
 柴田 晃、岸本 修、
 吉屋 省悟、三枝 政明、
 古門 貞美、鹿間星一郎、
 大西眞美子、森本 孝義、
 今竹 一史、石堂 求、
 近藤 義貴、藤原 千秋、
 河野 道正、柴田 ひな、
 大西 一弘、川端 宏明、
 西川 賀久、川本知代子、
 林 潤一

